

第 4 章

ミニ公開授業・ミニ公開検討会



第4章 ミニ公開授業・ミニ公開検討会

ミニ公開授業&ミニ公開検討会登録授業(前期)

授 業 名	担当教員
現代家族と法(法学)	合田 篤子
もの造り革命(技術論)	折原 勝男
バウンドテニス(スポーツ実技)	大貫 義人
山大マインド(総合)	仙道 富士郎
臨床発達心理学入門(心理学)	佐竹 真次
漢文学の世界(文学)	三上 英司
フィールドワーク - 共生の森もがみ - (総合)	柴田 洋雄
有機農業の現場で「自然と人間の共生」を考える(総合)	仙道 富士郎

ミニ公開授業&ミニ公開検討会登録授業(後期)

授 業 名	担当教員
唱歌と流行歌(芸術)	鈴木 渉

ミニ公開授業・ミニ公開検討会アンケート結果

授業科目名 :

授業者担当者 :

授業日時 : 月 日() : ~ :

設問 1 今回の授業の感想を自由に記述してください。

設問 2 今回の授業を公開・参観して、ご自身の授業をどのように振り返られましたか。何でも、自由に記述してください。

設問 3 ミニ公開授業・検討会はいかがでしたか。何でも自由に記述してください。

【前期】

ミニ公開授業 1

授業科目名 : 現代家族と法(法学)

授業者担当者 : 合田 篤子

授業日時 : 6月15日(火) 13:00~14:30

授業者のアンケート

設問 1 について

いつもより、やや丁寧に準備をして臨んだ。

緊張するかも思ったが、学生がきちんと理解しているかどうか、すなわち、参観者にも伝わるかどうかを意識したためか、普段より丁寧な授業が出来たように思った。

設問 2 について

設問 3 について

検討会を通して、工夫している点や、悩んでいる点について意見交換ができ、今後に活かすことが出来て良かった。

検討会を通して、自分の良い点を指摘してもらい、励みになった。

授業評価の高い教員の講義を参観したくなった。

ミニ公開授業 2

授業科目名 : バウンドテニス(スポーツ実技)

授業者担当者 : 大貫 義人

授業日時 : 6月28日(水) 14:40~16:10

授業参観者のアンケート

参観者 1 : 地域教育文化学部

設問 1 について

最初と最後の教員の話をよく聞いた上で、学生達が自ら準備、進行、片づけまで主体的に取り組んでいた。

審判、球拾い、ゲームの進行などをしっかりやれていた。

学生達と先生のコミュニケーションもみられ、良かった。

設問 2 について

学ぶべき点が多かった。

学生にルールを教えて、審判等も自分たちでやれるところは、自分の授業にも取り入れなければならないと感じた。

設問 3 について

初めてであったが、参考になることがあり有意義であった。

参観者 2 : 地域教育文化学部

設問 1 について

学生が話を聞く姿勢、自主的に授業に参加し、授業そのものを積極的に展開していくことが素晴らしいと思った。

大貫先生が授業計画を綿密に練っていることが、授業の落ち着きにつながっているのであろう。

設問 2 について

学生が休み時間を極力少なくすることが大切かと思われた。“休む”というのは、肉体的、体力的な要素ではなく、無駄な休息时间という意味である。自分の授業方法改善の参考となるであろう。

設問 3 について

特に実技科目を参観する機会は非常に少ないので、価値のある時間であった。

授業者のアンケート

設問 1 について

学生が非常に協力的であった。積極的に動いた。

設問 2 について

非常に有効であった。今後も継続していきたい。

設問3について

検討会は、20～30分のつもりが2～3時間に及び、有益であった。

ミニ公開授業3

授業科目名：山大マインド(総合)

授業者担当者：仙道 富士郎

授業日時：6月30日(金) 14:40～18:00

授業参観者のアンケート

参観者1：人文学部

設問1について

昨年より生き生きとした学生が多い、という授業の印象を持った。女子学生が増えたせいかな。

ただ、質問の中身はレベル低い。

医学部生が多いのはどうでしょう。

設問2について

私の授業も蜂屋さんに応援してもらいたい・・・というのは贅沢でしょうね。

設問3について

公開授業は、何度見ても面白い。その度毎に新鮮。

参観者2：地域教育文化学部

設問1について

メッセージ性のある話を学生は真剣に聞いていました。体験談は年長者の強みなのですね。

グループ作業記録に書かれた内容は、幼稚なように思いました。

後半の質疑応答の時間、今日は医学の話だったので、学長も積極的に話をしていたが、いつもはどうなのでしょうかな。

全体での議論がないのは淋しかった。

設問2について

教科書から離れた雑談を少し取り入れようかな、と思いました。

設問3について

特色のある授業改善の方法ですが、どのようにして学内に普及させたらいいのでしょうか。

【後期】

ミニ公開授業1

授業科目名：唱歌と流行歌(芸術)

授業者担当者：鈴木 涉

授業日時：1月17日(水) 14:40～16:10

授業参観者のアンケート

参観者1：高等教育研究企画センター

設問1について

映像(ビデオ)、音楽(CD)といった視聴覚教材をふんだんに使い、リズムのある楽しい授業展開でした。キーボードも持ち込み、引きうたいや3拍子のリズム、和音などを弾く

などもされ、あっという間に90分が過ぎたという感じでした。

それだけでなく、唱歌調が変質されていき、演歌調へと辿り着いたその流れを、歴史的・社会的文脈をおさえながら、実際の曲の鑑賞を通して実感・理解するという理論的な要素として学習させていて、とても分かり易く、かつ納得の出来る内容でした。

学生も、静かに積極的に参加していました。

設問2について

視聴覚教材の上手な使い方をしていきたいなぁと思いました。

どの学生にも、それぞれの参加の仕方がある。居場所がある、そういう授業を心がけたいなと思いました。

また、その他、授業内でのリズムの作り方(和やかさ、緩急などの作り方)も、大変参考になり、自分の授業でも工夫できるなと思いました。

設問3について

授業の底に流れる、授業担当教員の工夫や思想・哲学、こだわりなど、これまでの経験と、今の大学での授業状況との相互反応で生まれたそれらのものが拝聴できて良かったです。

また、授業をしていく上での悩みも共有できて大変有意義な時間でした。

平成 年 月 日

学部

殿

教育方法等改善委員会委員長
柴田 洋雄

「ミニ公開授業・検討会」へのご協力について（依頼）

教養教育では、平成12年度から、授業改善のための「公開授業」と「公開検討会」を実施しております。公開授業と検討会は授業改善のためにとっても有効な方法ですが、自分の授業を不特定多数に公開し、その検討会を実施することに躊躇なさっている先生方が多いのもまた事実です。そこで、本委員会では、昨年同様、教養教育改善充実特別事業の一環として、「ミニ公開授業・検討会」を行うこととしました。

「ミニ公開授業・検討会」は、授業を公開する先生が、自分が決めた特定の日に、気心の知れた3~5人の教員（学部や専門分野は問わない）に、あらかじめ声をかけて参観してもらい、その後そのメンバーでおよそ30分程度、授業の検討会を行ってもらうものです。あくまでも授業改善のためですので、授業者が授業の改善に利用するのはもちろんのこと、参観者もその授業の良いところを発見し、自分の授業にも活かすよう心がけてもらおうとの趣旨です。本委員会としては、山形大学に「ミニ公開授業・検討会」が拡大し、授業改善が進んでいくことを期待しています。

このたび、平成18年度 期に教養教育の授業を担当されている方全員にご案内した上で、上記の趣旨をご理解いただける方に、「ミニ公開授業・検討会」にご登録していただくこととしました。登録していただいた授業を、委員会のメンバーが参観したり、検討会に出席することはありません。委員会としては、検討会終了後に授業者と参観者にそれぞれA4版1枚程度のアンケートに記入していただき、それを今後の授業改善の資料にさせていただきたいと考えています。アンケート項目としては、授業者と参観者に共通の3つです。

今回の授業の感想を自由に記述してください。

授業を公開・参観して、ご自分の授業をどのように振り返られましたか。

ミニ公開授業・検討会はいかがでしたか。

この「ミニ公開授業・検討会」にご協力いただける方は、下記に公開日時と参観者名を記入の上 月 日（ ）までに学生センター1階入口横の高等教育研究企画センターBOXへご提出ください。公開日時が未定の場合はその旨お書きください。また、実施当日に参観者が変更になっても構いません。なお、登録いただいた方には、後日、「ミニ公開授業・検討会」のアンケート用紙をお届けします。

登録いただいた授業を事前に学内に案内することはありませんが、授業改善に興味のある方に幅広く公開して実施されることをご希望の方は、下記の記入表の欄にチェック印をつけてください。

また、昨年度の様子については、平成17年度本委員会報告書「教養教育 授業改善の研究と実践」P.235~をご覧ください。（お持ちでない方は、高等教育研究企画センター（内線4707）までご連絡ください。）

----- 切り取り線 -----

私は「ミニ公開授業・検討会」を以下のように実施する予定です。

所属： 学部 氏名：

[]

実施日時：平成 年 月 日（ ） 校時

参観予定者：

この授業は、参観予定者のほか、参観を希望される方に広く公開します。

平成 年 月 日

「ミニ公開授業・検討会」登録教員 各位

教育方法等改善委員会委員長

柴田 洋雄

「ミニ公開授業・検討会」の授業者と参観者に寄せて

このたびは、「ミニ公開授業・検討会」の実施にご協力いただき、ありがとうございます。ご存知のように、「公開授業・検討会」は、授業者のみならず、参観者の授業改善においても、とても有効な方法です。

しかしながら、授業方法と同じように、「公開授業・検討会」の最善の実施方法は、いまだ確立されておりませんし、多様な授業方法がある限り、これからも確立されるとは思いません。本委員会としても、方法論についてはこれからも研究を積んでいかなければなりません。授業改善の方法として有効に活用されるならば、多様な方法があつてしかるべきだと考えております。どうか、ご自分流の方法を編み出してご教示いただければと思います。

そうした前提を踏まえた上で、「ミニ公開授業・検討会」が、より実りあるものになるように、ここではこれまで本委員会で研究して参りました、「ミニ公開授業・検討会」を実施するに当たっての留意点を、別紙のようにまとめました。ご参考になれば幸いです。

なお、検討会の終了後に、別添のアンケートを授業者と参観者にご記入いただき、学生センター1階入口前・高等教育研究企画センターBOXへお届けくださいますようお願いいたします。

「ミニ公開授業・検討会」を実施するに当たっての留意点

1 今回の「ミニ公開授業・検討会」が終了した後、授業者が授業の改善に利用することはもちろんのこと、参観者もその授業の良いところを発見し、自分の授業にも活かすよう心がけてください。

「また自分の授業を公開しても良い」「今度は自分の授業を公開しよう」といった積極的な姿勢を持てるような、内容のある、明るいムードの「ミニ公開授業・検討会」としてください。

2 授業者は、普段どおりの授業を心がけてください。参観者は授業に介入しないよう、参観する位置についても考慮してください。なるべく、学生の注意が参観者に向かないことが望まれます。

3 参観者は、学生と一緒にあって授業だけに集中しないでください。大切なのは、授業中の学生の反応です。授業の内容や授業者の行動の変化によって学生は敏感に反応しているはずです。学生は、どのような時に授業に集中し、どのような時に集中力を失っているのでしょうか。

また、今回参観した授業が、15回分（初修外国語の場合は30回）の1回だということに留意してください。今回の授業がその授業の全体ではありません。それと同時に、授業は、それまでに築き上げられてきた学生との関係によって成立していることも忘れないでください。

4 教室の環境などにも留意してください。授業の大切な構成要素です。

5 検討会では、参観者が授業を褒めることから始めてください。授業者のコメントから始めると、ひたすら反省の弁を述べ続けることになる恐れがあります。最初に授業を褒めることが、その後の授業の分析や批評の妨げになることはないはずです。

